



特集 P4 ~ P5

新しい特産品としての期待を集め、山辺町の「舞米豚」、店頭デビュー!

Yamagata Original Cooking 地産地食 Chisan Chisyoku

旬の食材で

プロが作る
オリジナル料理 ①

【牛坂英雄】

東京紀尾井町にあるホテルニューオータニで宴会副料理長を務めた後、フレンチの名店として名高いトゥールダルジャン・パリ店を経てトゥールダルジャン東京店料理長を務めた三ツ星シェフ。現在は山形市の結婚式場「ベル・プランシェ」を始め福島、盛岡の結婚式場で総料理長として腕を振るう。ベル・プランシェでは式場内の「レストラン エアロ」で牛坂氏の「カジュアルなフレンチ」をリーズナブルな料金で味わえる。場所は山形市松波4-10-5、電話023-625-1165。営業は月曜～金曜の11:30～14:30。



【長いも】

今回の食材は長いもです。栄養価が高く、消化吸収を助ける効果があります。独特の粘りがあり、すりおろして食べる方が多いのではないのでしょうか。細く切ってシャキシャキした食感を楽しんだり、また、火を通しておいしくいただけます。

●材料

長いも…1本、スズキ…半身(皮なし)
レンズ豆…50g、ブレ麦…50g
オニオン…少量、アスパラガス…3本
黄パプリカ…適量、ゴボウ…適量
生クリーム…適量、パイオン
パルメジャーノ (パウダー)

●作り方

- ①スズキは塩コショウし、両面を軽く焼く。
- ②長いものすりおろしとスズキのすり身を合わせて①に塗る。
- ③アスパラガス・黄パプリカ・長いものスライスを②に乗せ、170℃のオーブンで7～8分焼く。
- ④レンズ豆とブレ麦をソテーし、パイオンで炊いた後、パルメジャーノを混ぜて皿に敷き、その上に③を乗せる。
- ⑤ソースはゴボウと長いものソテーに生クリームとパイオンを加えて煮込んだ物をツブが残る程度にミキサーにかけます。仕上げにソースを泡立て、カプチーノ風にしたら④に添えてできあがり。



【スズキのループ 旬菜の装い 春の訪れ】



●プロの調理人に「山形の旬の食材」を使ってオリジナル料理を作ってもらって発表していただく企画です。この紙面で発表された料理は、お店のメニューに加わる事もあります。ご期待ください。

1		9	13		18	21
	D					B
		10		16		
2	6		14			
		7	11		19	
						C
3		12			20	22
				17		
4	8					
			15			
5						E
	A					

パズル? 頭の体操 出題●ニコリ 正解者には抽選でプレゼント! 詳しくはP15へ。

👇 タテのカギ

- 1 風邪をひいたとき、口や鼻を覆います
- 3 1番目 ナンバーワン
- 6 細くなったり、また丸くなったり、毎日形が変わります
- 8 天井のある方向
- 9 矢や弾の標的になるもの
- 11 原稿—— 答案—— コピー——
- 13 天気予報や注意報を出します
- 16 わせとは違い、成熟の遅い品種です
- 17 根からとれる粉は——もちや——湯などの材料になります
- 18 書店や図書館にたくさんあるもの
- 19 臼でもちをつくるとき使う道具
- 21 剣道のけいこや試合で使う刀
- 22 漢字では木偏に春と書きます

👉 ヨコのカギ

- 1 「鬼は外、福は内」の掛け声で行われる節分の日の行事
- 2 ブーツもスニーカーもハイヒールも
- 4 晩ご飯ともいいます
- 5 3匹の子豚は、わら、板、レンガで造りました
- 7 手ごわい相手です
- 10 今年なら丑(うし)年生まれ的女性です
- 12 外側ではなく、中の方
- 14 入————場 日光——
- 15 グルグルと目が回りそうな模様
- 18 夜空に無数に見えるもの
- 20 風邪をひくと出ることもあります

若い力でバックアップします。

new-face!



直売などでお客様と接する機会もあり、刺激になります。



普段はデスクワークが中心。お客様との電話応対や端末入力なども行います。

農業に興味があり、大学でいろいろ農業を学んできました。それで就職を考える時に、実家の農業を手伝いながら、学んだことを生かせる職場はどこだろうと考えたら、JAやまがたが理想の就職先でした。

●農学部で学んだということ、やりたいこともたくさんあるかと思いますが、将来やってみたい仕事などはありますか？

後藤 将来の希望としては、たとえば商品開発のお仕事や、組合員の皆様ともしっかりとお仕事などをやってみたいと思うことはあります。でも入組1年目ですので、まず

●本店営農経済部・特販課 後藤麻子さん

山形西高等学校、山形大学（農学部・生物生産学科）を卒業し、昨年4月、当JAに入組。本店営農経済部・特販課に配属となる。趣味は旅行。大学時代は写真部に所属し、旅行しながら写真を撮って楽しんでたという。24歳。山辺町在住。



所在地/山形市旅籠町1-12-35
電話/023-641-3121

●本店営農経済部・特販課



もがんばりますので、ご指導のほど、どうぞよろしく願っています。

JAのお仕事 拜見

JAやまがた
本店営農経済部・
特販課

特販課で経理を担当しております後藤麻子です。担当業務にベストを尽くしながら、組合の様々な仕事について学んでいきたいと思っています。

●後藤さんが担当している仕事について教えてくださいませんか。

後藤 はい、私は昨年4月に本店営農経済部特販課に配属され、そこで経理の仕事をしていただいています。特販課は市場外流通を担う部署で、組合員の皆様が生産された農作物を直接お客様

に販売していますが、それらに関する伝票作成と経理事務が私の仕事です。

●大学の農学部を出たとのことですが、経理の勉強もしてきたのですか。

後藤 いいえ、経理の勉強は全くしてきませんでした。ですから配属された時はびっくりして、私にできる

だろうかと不安になりました。これまで何とかやってこられたのは先輩方のご指導のおかげで、本当に感謝しています。

●ところで、なぜJAやまがたを就職先に選んだのですか？

後藤 実は私の実家も小さいながら農家をやっておりまして、私自身も

●昔はこんな民具が活躍していました。



アイロンといえばいまや電気式で、スチーム機能付きなどが普通ですが、昔は写真のような形のものに炭火や熨斗を入れ、その熱で衣類のシワを伸ばしたり折り目を付けたりに使いました。この炭火アイロンが日本に入ってきたのは幕末のころ。ペリー来航時の様子を記した資料にアイロンの絵が見られるので、そう推定されているそうです。そして、明治中期ころになると全国各地に普及し、昭和の高度成長期まで長きにわたり利用されました。

昔の農家ではお母さん方も農作業に家事にと忙しく、アイロンがけができるのはありがたい夜。家族がそろそろ床に着くころ、家事を終えたお母さんはようやくくつろぎながら、お風呂に浸りながらアイロンがけをしたものでした。今となっては遠い過去となった、大正、昭和の様子です。

[資料提供]
山形市郷土資料収蔵所
住所 山形県山形市青田南1番1号
TEL 023-631-7022

JA YAMAGATA MONTHLY

今月の表紙



山形市今塚

丹野菊樹さん、牧さん、菊男さん、富子さん、慎くん11才、大くん7才

丹野さんでは、5.1haの稲作と6年前から30aのハウスでナスを栽培しています。冬場は農閑期の転作としてストックを栽培。休日は家族揃って蔵王にスキーに行くのが何よりの楽しみだそうです。

懐かしの民具

炭火アイロン

2009 02 月号 目次

懐かしの農具 ②

JAの仕事を ③

AGRI+ 新しい特産品としての期待を集め、山辺町の「舞米豚」、店頭デビュー!! ④

営農情報 ⑥

やまがた彩時季 ⑧

News Topics ⑩

地域の話題 ⑫

フラワーアレンジ&ガーデンング ⑬

INFORMATION ⑭

プロが作るオリジナル料理 ⑯

新しい特産品としての期待を集め、山辺町の「舞米豚」、店頭デビュー！

米の生産調整と畜産振興を両立させる新たな試みとして、山辺町で今年度からスタートした「舞米豚プロジェクト」。これは町内の稲作農家が生産した飼料用米を、町内に本社を置く養豚会社が飼料として利用することで、美味しい豚肉をつくり、付加価値の高いブランド豚として販売していくという取り組みです。公募により「舞米豚」と名付けられたその豚肉が、1月14日から販売スタート。これまでの取組みと、今後の展開などを山辺アグリFFの江口順市理事と(株)山形ビッグファームの阿部秀頭専務に伺ってきました。



山形ビッグファームでは出荷前の豚が飼料米を食べて元気に育っています。

「偶然にも取材日の今日、「舞米豚」がスーパーの店頭に並んだそうです。阿部 はい、今日が記念すべき「舞米豚」の店頭デビューとなりました。本当なら昨年12月には店頭に並ぶ予定でしたが、初めての出荷でいろいろ関係者との調整などもあり、約1か月遅れのデビューとなりました。——では今回の取り組みについて、どういう経緯でスタートし現在に至るのか、教えてくださいいただけますか。江口 どういう経緯で始まったかといいますが、まずご存じのように、稲作農家は米の減反、生産調整という問題がずっとあり、農家はやむなく休耕田にしたり、あるいは転作してそばや大豆をつくったりということをしてきました。しかし私たちがとしては、代々続いてきた水田ですからできれば米をつくりたいというのが本音です。そ

れに大豆やそばへの転作といっても口で言うほど簡単ではないし、補助金を出しても価格的にはやはり厳しい。また一度転作してしまうと、再び水田に戻すのはかなり大変になる。それでなんとか水田として維持する方法はないかと考えた時に、飼料用米をつくるという案が出てきたのです。飼料用の活用ということでは庄内の平田牧場さんが数年前から取り組まれています。飼料用米の生産では遊佐町が早くから取り組んでいて、私たちも昨年2月にその遊佐町に視察に行ってきました。そこで学んだことを踏まえ、昨年7月に山辺町水田農業推進協議会の中に「飼料用米推進部会」を立ち上げ、飼料用米で山辺町特産の豚肉を育てようということで事業化を進めてきた次第です。

——その「飼料用米推進部会」はどういうメンバーで構成されているのですか？

江口 私たち農事組合法人山辺アグリFFと、養豚を担当する(株)山形ビッグファームさん、飼料会社の北日本くみあい飼料(株)さん、それに(株)山形県食肉公社さん、JAやまがたさん、山辺町産業課さん、山形県村山総合支庁の農業技術普及課さんという7者ですね。

——それで、プロジェクトの具体的な流れとしては、どのようなものになるのでしょうか？

江口 まず私たち稲作農家が飼料用米を生産します。今年度参加している農家は8人で、生産面積は4.7haですが、ここで生産した米をJAやまがたさん経由で北日本くみあい飼料さんに渡し、ここで他の穀物などとブレンドして豚用の飼料を作ってもらいます。それが山形ビッグファームさんへと渡り、豚の飼料として使われるという流れです。



飼料米の生産を行う、農事組合法人山辺アグリFFで理事を務める江口順市さん。

——山形ビッグファームさんでは、そのお米が入った飼料はどのような形で豚に与えるのですか？

阿部 当面は、出荷前の豚に2ヶ月間のお米入り飼料を与え、肉質を良くして出荷する予定です。2ヶ月間に食べさせる量としては180〜190kgになります。

——豚にお米を食べさせると、具体的にどのようなメリットがあるのですか？

阿部 まず肉質が柔らかくなり、脂の質が変わるといわれています。具体的なデータのようなものがあれば一番いいのですが、現段階ではそれがなくて、独自に検査機関に依頼することも検討しているところなんです。ただその料金も安くなくて(笑)。でも、昨年12月8日の「飼料用米フォーラム」で試食していただいた時は、多くの皆さんに「豚特有のにおいがありなく、うまい」とか「甘みがあって味が上品だ」と評価していたので、私もこの飼料用米を食べさせたい豚に改めて自信を持ちました。

——店頭での価格はやはり多少高くなるのですか？



舞米豚の生産拡大に意欲を燃やす、(株)山形ビッグファームの阿部秀頭専務。

阿部 その辺が一番考えたところだったのですが、私どもとしては飼料用米で育てた豚肉ということで少し高く販売できればと思っています。しかし流通関係者ともいろいろ相談した結果、当面は一般的な国産豚と同程度の値段で販売することに納まりました。ただこの「舞米豚」は、美味しいとか美味しくないとかだけではなく、飼料用米を食べさせることで水田の保全につながったり、飼料の国内自給率をアップすることにつながるんだということもあります。なので、そういう部分をアピールしつつ、将来的にはそれなりの価格で販売していければと思っています。それにはまず、多くの皆さんに「舞米豚」を食べただけだかないと始まりませんので、私としてはその辺のところをぜひJAやまがたの組合員の皆様にも、よろしくお願い申し上げます。

——私たちも本当に応援したいと思えます。ぜひこれを成功させて、「舞米豚」を新たな特産品として大きくしていきたいです。本日はお忙しい中、どうもありがとうございました。



12月8日の試食会の様子。「舞米豚」は山辺町内の大型スーパー2店舗で販売中で、今後順次販路を広げていく予定です。



今年度は別の品種を作付けしましたが、来年度は飼料用米としてより多くの収量が見込める「べこおは」を作付けする予定です。

営農情報Pick Up



中央営農センター
佐藤 隆一
携帯番号 090-4312-3909

肥料高騰 施肥コスト低減対策として
土壌診断に基づいた施肥量の節約を

昨年7月頃より、世界的に肥料の原料価格が高騰しております。特にリン酸（燐酸）、塩化カリ（加里）においては、前年比で3倍、尿素（窒素）は2倍以上となり農業経営を益々圧迫しております。また、価格の上昇傾向は当面続くことが予想されます。こうした中、効率的で効果的な施肥で作物が必要とする最小限の施肥量への転換を進めることが、環境にやさしい農業を推進する上からも重要となっております。土作りの前に「土壌診断の活用」で現在の施肥量及び施肥基準量及び目標収量と比較し、施肥量が過剰でないかチェックし、適正化することで施肥コストの低減を図りましょう。

- 特に、
- 土作り資材としてのリン酸、加里、石灰は、過剰施肥になりやすいので注意。
 - 養分の集積が起きやすい施設園芸や野菜畑などでは、定期的な土壌診断で、施肥改善を行う。

土壌診断結果及び土壌改良目標値に基づき、過剰に集積している成分の施肥量を削減し、施肥コスト低減を実現するとともに良質な農産物生産に取り組みましょう。
(詳しくは、お近くの支店または営農センターにお問合せ下さい。)

「土壌診断室では、次のような分析を行っています」

1. PH………土壌の酸性、アルカリ性を調べる
2. EC………土壌悪化の要因となる塩類の集積を調べる
3. CEC………塩基類(加里、石灰、苦土)を保持する力(保肥力)
4. 置換性石灰
5. 〳 苦土 } ……土壌中の有効態石灰・苦土・加里
6. 〳 加里 } の量を調べる
7. 有機リン酸………作物の吸収できる土壌中のリン酸を調べる
8. リン酸吸収係数…土壌がリン酸を吸収する強さを調べる
9. 硝酸態窒素………畑土壌における窒素含量を調べる

「土壌診断の申し込み、土壌の採集について」

- 圃場より土壌を採集し、お近くの支店または、営農センターへ（次期作付けに間に合うよう早めに申し込み下さい。）
土壌診断申込書、正しい土の取り方については、「平成21年用春肥料共同購入予約申込書」の2ページを参照下さい。
- 土壌診断料は、1点（上記9項目）につき、525円（税込み）です。（尚、春肥料共同購入予約申込みの方には、無料券を発行しております。）

生産資材NEWS

春肥料（特別価格設定品）の配送について

日頃より、JAの予約購買事業につきましては格別なるご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。肥料価格高騰対策の特別予約価格設定品について、予約注文書の記載の通りに1月～2月に配送をさせていただきますので、よろしくお願い致します。

特別価格設定品目

- はえぬきワンR・フルーツ有機80・フルーツ有機50
- フルーツ有機ぶどう専用・やさい1号・やさい2号・ぼかしの大将
- やさい有機100・やさい有機50・やさい有機NK73・やさい有機NP66
- ぼかしの源さん・ロング入り野菜100・ロング入り野菜140
- はえぬき専用尿素系・はえぬき専用塩安系

JAやまがた農政対策協議会・支店長合同会議

昨年12月12日、JAやまがた本店において「農政対策協議会・支店長合同会議」が開催されました。この会議には各地区農政対策協議会支部長、実行組合長連絡協議会代表、支店長など約90名が出席し、平成20年度の農政活動経過報告や水田農業対策などについて協議が行われました。当JA長澤豊代表理事専務は「今年は農作物の価格の下落や原油高などによる生産資材の高騰により、農家の経営は厳しい状況にあります。そのような中、皆様からは転作や農政活動において多大なるご協力をいただき、大変感謝しております。」と挨拶しました。20年度の農政活動について、農産物の価格低迷や生産資材の高騰に対し国・県・市町行政に働きかけ、価格転嫁に理解と協力を求めた運動についての報告が行われました。



農政活動経過報告（抜粋）

- ◎3月1日
農作物災害防止対策本部設置（本店）
- ◎4月30日
「WTO農業交渉に関する要請」二市二町首長及び同議会議長へ訪問要請
日本の農業が持続的に発展し、消費者に安心安全な農産物を提供できるように国に対して強く働きかけていただくよう、二市二町に要請しました。



- ◎5月1日
農産物盗難防止対策本部設置（本店）
- ◎7月16日
本沢小学校へぶどうプレゼント
- ◎7月22日～23日
農業経営維持・安定を図るためJAやまがた青果物販売協力会と米穀取引会社に要請
JAやまがた青果物販売協力会（青果物市場）18社に生産コスト増大に伴う農畜産物販売価格転嫁の要請が行われました。
- ◎8月19日～26日
「燃料・生産資材等物価高騰を打破する政策実現に関する要請・請願」二市二町への要請と議会への請願
- ◎8月21日
「農業危機突破」山形県JA代表者集会・街頭行進 食・
- ◎12月9日
WTO交渉対策緊急全国代表者集会（日比谷野外音楽堂）

農・くらしの危機を協同で打破する県民運動

物価の上昇や景気の低迷を受けて生活不安が増大する中、山形県の4つの協同組合と消費者が連携し、食・農・くらしの危機を協同で打破すべく、県民運動を展開しました。



- ◎9月19日
中山町学校給食小中学校へスモモプレゼント
- ◎10月6日
第2回JAやまがた子育て支援事業一升餅背負いの集い
子供の満1歳の誕生日を祝い、健やかに成長することを願う伝統行事。抽選で選ばれた40組のご家族が参加し、子供たちに一升の餅を背負わせ歩いていただきました。



- ◎12月9日
WTO交渉対策緊急全国代表者集会（日比谷野外音楽堂）

やまがた
彩時季

◆蔵王樹氷祭り・雪と炎の饗宴 ©山形市

一度見ると忘れられない
冬の祭典です。

雄大な大自然が創り出す雪の芸術「樹氷」。
樹氷祭りは毎年樹氷の見どころに開催。
スキースクール・インスタラクターの
華麗なデモンストレーションや
雪上のイベントなどが行われます。
祭りの最後に「雪上花火」がゲレンデを彩り
見る人を神秘の世界に誘います。



山 形一小の3年生が、学校で米の脱穀作業
青年部も協力して、ヒメノモチ1.5kgを脱穀しました

山形市本町にある山形市立第一小学校（千葉榮一校長）で12月17日、3年生児童による米の脱穀作業が行われました。この作業は、1月号の特集記事（対談）で紹介させていただいたように、同校の3年生が米作りを学ぶために学校の中庭にミニ田んぼをつくり、実際に米作りを行ってきた授業の一環で、この日は乾燥させておいた稲を、千歯こぎを使ってみんなで脱穀作業をしました。



から脱穀を行いました。子どもたちは千歯こぎを見るのも使うのももちろん初めてで、見たことのない不思議な道具に興味津々の様子。それでも青年部の皆さんの指導で、稲を歯に引っ掛け、強く引っ張ると見事にのみだけが稲づらから落ちて脱穀することができ、歓声を上げながら作業を楽しんでいました。なかにはつまぐもみが落ちなかつたり、遠くまで飛び飛んでしまったこともありましたが、丁寧に拾い集めて一粒の米も無駄にせずに脱穀できました。この日脱穀したお米（ヒメノモチ）は計1.5kgで、後日餅つきをする予定だそうです。自分達で作った米でついた餅は、格別な味となることでしょう。



長 町支店の玄関に謹賀新年の「書」
今年も地元の庄司純一さんが、提供してくれました



JAやまがた長町支店の玄関に1月上旬、謹賀新年の「書」が貼られました。これは山形市長町にお住まいの庄司純一さんの作品です。庄司さんは書道が趣味で、20年程前から正月用に「謹賀新年」の文字を書き長町支店に提供して下さっています。長町支店だけでなく、地元長町の商店街にも書き続けているということです。庄司さんは、「お世話になっている地域のために、感謝の気持ちを込めて書くようになったんです。ますます地域が発展することを願っています」と話して下さいました。長町支店でも毎年大変うれしく思っています。庄司さんのお気持ちを大切に、当支店も地域に貢献していきたいです」と話していました。

成 沢支店で今年も恒例の「だんごやし」
今年も豊作で、みんな健康で過ごせますように！



JAやまがた成沢支店で1月16日、恒例の「だんごやし」が行われました。「だんごやし」は正月の伝統行事で、紅白のだんごをみずき枝に刺し、ふなせんべいなどを飾りつけて、豊作や家内安全などを願うものです。成沢支店でのだんごやしは、成沢郷土史研究会（会員80名）の皆さんが地域の伝統行事を残していこうと約30年前から行っているもので、小学校や公民館でもだんごやしをして下さっています。成沢郷土史研究会のメンバーの方は、「今年もいい年であることを願いながら、だんごを刺しています。こういっただ行事を大切にしていきたい」と話して下さいました。

お 客様からいただいた「すてきな絵手紙」
おいしさ直売所鈴川店で、ぜひ一度ご覧下さい！



JAやまがたおいしさ直売所鈴川店に、直売所を利用して下さっているお客様からいただいた「すてきな絵手紙」が飾られています。この絵手紙は山形市双月町にお住まいの石島智子さんが書いて下さったものです。石島さんはおいしさ直売所鈴川店の開店当初からのお客様で、「地元の新鮮な野菜や果物が大好きで、絵手紙に残したい」と、絵手紙を書き続けていらっしゃるとのこと。四季折々の花・野菜・果物などを題材にした絵手紙は、店内に花を添えてくれます。お客さまも従業員も楽しみにしている、石島さんの絵手紙。皆さんもお店に足を運んで、ぜひご覧下さい！

西 部地区のキウイフルーツ出荷が佳境
今年も、おいしくキウイができていますよー



JAやまがた西部農産センター西部集荷場では、キウイフルーツの出荷が佳境を迎えています。出荷しているのは西部果樹組合キウイフルーツ部（部員15名）の皆さんで、同部では昭和54年頃からキウイフルーツの栽培に取り組み、現在は計3.5haの園地で年間24トンを出荷しています。出荷時期は12月中旬から2月中旬頃まで。山形でキウイ栽培というと意外に思われるかも知れませんが、山形は昼と夜の気温差が大きいので、おいしいキウイフルーツができるのだそうです。同部が栽培したキウイは、おいしさ直売所でも販売されていますので、ぜひお賞味ください。

毎 年恒例の「JAやまがた親子のつどい」
今年もクリスマスケーキとマイ箸づくりで挑戦しました！



JAやまがた本店で12月23日、毎年恒例となっている「JAやまがた親子のつどい」が開催され、55組120名の親子が参加してクリスマスケーキとマイ箸づくりに挑戦しました。この「親子のつどい」は毎年この時期に、JAやまがた生活福祉部が開催しているもので、今回で12回目。今回は冬休みを迎えた小学3年生～6年生の子どもたちに、ものを作る楽しさを知ってもらおうと、クリスマスケーキとマイ箸づくりに挑戦することにしました。



マイ箸づくりをするのはほとんどの参加者の皆さんが初めてで、カッターナイフを使って木を削っていく作業など、なかなかうまくいかない参加者もいましたが、親子で協力しながらなんとか全参加者がマイ箸を完成。指導役の職員たちもホッと胸をなでおろしていました。そしてマイ箸づくりの後はクリスマスケーキ作り。こちらは大好きなケーキを自分で作るということで子どもたちは大喜びで、イチコなどのフルーツとチョコレートを、たっぷりのホイップクリームを使って思い思いの飾り付けをし、ケーキ作りを楽しんでいました。完成したケーキとマイ箸を手にとり、参加した皆さんは大満足の様子で、クリスマスの楽しい思い出になったことでしょう！

もうすぐバレンタインデー！ 今年はチョコレートに花を組み合わせ、 “フラワー&チョコ”でアタックしてみませんか！

もうすぐバレンタインデー。もしも気になる本命さんがいて、気合いを入れてプレゼントするのなら、チョコレートとお花を組み合わせた“フラワー&チョコ”なんていかがですか！ 組み合わせ方に何も制約はないので、自分の思うままにお花をアレンジし、それをチョコと組み合わせるだけでOK。今回はその一例を、「パークサイドフローリスト」の石澤さんと安藤さんに教えていただきました。



- ①材料は左から木枠、オアシス、リボン、ハート型のココット、チョコレート、ゲーラックスの葉、スプレーバラ、ブレイリウム。
- ②まずはカッターなどを使って、ココットの中に入れる「オアシス」を成形する。オアシスは乾いた状態でカットする。
- ③成形したオアシスをココットの中に入れ、水を差す。この時、ココットの上に直接水をかけると中心部が乾いてしまうことがあるので、端の方から注ぎ入れるようにする。
- ④スプレーバラの花の部分を切り取り、オアシスに差し込んでいく。切り取る時は、花を差し込んだ時の高さがちょうどよくなるように考えながら、茎をカットすること。
- ⑤④が終わったら、ブレイリウムの花をアクセントとして飾り、それを木枠に入れて隙間にチョコレート詰め。最後にゲーラックス(葉)に修正液でメッセージを書き、リボンを結ぶ。

協力/パークサイド フローリスト 山形市十日町4-1-7 電話023-6323-3767



パークサイド フローリスト
石澤由香子さん
安藤麻里子さん

「パークサイドフローリスト」は、原田昌弘社長が昭和52年に山形市宮町で創業。昭和58年に現在地(山形市十日町)に移り、通算30年になる。創業当時から洋花に力を入れ、その一方でフラワーアレンジの技術向上のため、各種大会に積極的に参加。原田社長はじめスタッフ全員、華々しい成績を上げている。そんな中で石澤さんはキャリア11年、安藤さんはキャリア6年で、同店の主力スタッフとして活躍中。

地域の話題

イベントやまつりなど地域の話題をお届けします。

山形市 YAMAGATA

「山寺芭蕉記念館で市民企画展」 「俳句フォト」と「魅惑の器展」の2つを同時開催！



山形市山寺にある山寺芭蕉記念館で12月9日～1月25日、「俳句フォト」と「魅惑の器展」と題した2つの展示会が開催されました。この2つの催しは、同記念館が山形市内の団体やグループに展示会の企画を募り、選ばれた団体に同館で展示会を開いてもらうという「市民企画展」として開かれたもの。「俳句フォト」は、

山形市内の写真愛好家グループである「かも会の山形支部」が、写真と俳句をセットにした作品を展示し、「魅惑の器展」は「やまがた器愛好会」という陶磁器収集家のグループが、長年にわたって収集してきた自慢のコレクションを展示して、訪れる人たちの目を楽しませていました。

山寺芭蕉記念館によると、「市民企画展」は平成19年度からスタートし、今年で2年目。来年度についてはまだ継続するかどうか正式決定はしていないものの、好評のためできるだけ継続していきたい意向ということです。皆様の中で、趣味の会などをつくっていらっしゃる方がもしいらっしゃいましたら、同館での展示会など企画してみたいかがでしょうか。

なお同館では例年2月下旬から雛人形展を開催していますので、そちらにもぜひ足をお運びください。山寺芭蕉記念館 電話023-695-2221

山辺町 YAMANOBE

畑谷地区の雪田を会場に「風雲！ 畑谷城雪合戦」 大河ドラマ「天地人」にあやかり、雪合戦で地域をアピール！



山辺町の畑谷地区で1月18日、「風雲！ 畑谷城雪合戦」と銘打ったイベントが開催され、地元住民や近隣市町村から訪れた多くの人たちで賑わいました。このイベントはNHKの大河ドラマ「天地人」の放送開始を記念するとともに、これを機に山辺町や畑谷地区を内外にアピールして地域活性や観光誘客につなげようと山辺町観光

協会が中心になって企画したもの。当日は山辺町、中山町、山形市、白鷹町などから参加した14チーム(1チーム5名)が、約400年前に畑谷地区で実際に合戦をしたという上杉軍と最上軍を見立てて2つのチームに分かれ、雪合戦を繰り広げました。ルールは5分の制限時間内に、相手軍の風船に雪玉を当てて4つの風船を早く落とす方が勝ちというもの。参加者たちは思うように動けない雪のコート上で四苦八苦しながらも、観衆の声援にも後押しされて元気いっぱいプレイしていました。

会場のまわりには地元の人たちがテントを立て、玉こんにゃくや甘酒、納豆餅などを無料で振る舞い、訪れた人たちは大喜び。また、いま話題の舞豚豚を使った豚汁も振る舞われ、人だかりができるほど人気を集めていました。なお最優秀チームには、中山町から参加した「大ちゃんとうかいな仲間達」チームが選ばれ、賞品としてジンギスカンの食事券が贈られました。

三月の
まつり
イベント

【山形市】
●2/25(水)～4/5(日)：山寺芭蕉記念館「企画展 雛人形の歴史展」

【中山町】
●3/1(日)～4/3(金)：柏倉九左衛門家の雛飾り

【山辺町】
●3/1(日)～3/31(火)：やまのべひな街道(本町・駅前商店街等各店舗)の雛飾り

しっかり積み立て、がっちりサポート
安心で豊かな老後を

農業者年金

国が支える、安心が大きくなる
担い手積立年金

「担い手積立年金」は農業者年金の代替です。
農家に従事する方ならどなたでもご加入いただけます

独立行政法人 農業者年金基金 電話03(3502)3942

安心経営に 果樹共済

度重なる大型台風の襲来、記録的な異常気象等、自然災害の脅威は手塩にかけて育てた果実に幾度と無く襲いかかります。

NOSAI山形中央では、ただいま果樹共済の加入推進運動を展開中です。(1月から2月末)

果樹共済(農業共済制度)は、自然災害から農業経営を守る唯一の補償制度です。果樹経営安定のため是非加入しましょう。

詳しくは、お近くの果樹共済推進員又は

NOSAI山形中央園芸部 果樹課
TEL 023-656-8979
まで。
フリーアクセス 0120-51-3205
もご利用下さい。

表紙モデル募集中!!

プロのカメラマンが、ご自宅に伺います。

かわいいお孫さんと一緒にご家族で「JAやまがた」の表紙を飾ってみませんか。成長の記念、一生の思い出になります。

- ★組合員又は組合員のご家族であればどなたでも。
- ★お孫さんと、祖父・祖母(お父さん、お母さん)も参加できます。
- ★事前に撮影場所や、撮影日時、撮影内容の打ち合せに伺います。
- ★コメントのミニ取材あり。



- 紙面の都合で取材をお断りする場合がございますのでご了承ください。
- 場合によっては取材日に伺うことができない場合もありますので、早めの連絡をお願いします。
- 掲載内容、掲載内容はJAに一任願います。

◎お申し込みは、住所・氏名・電話番号を記入の上、JAやまがた本店・総務課まで(FAX.023-631-4714)または、ハガキで。
●お問い合わせは、JAやまがた本店・総務課(電話023-641-3121)へ。
※JA各支店でも受け付けております。

シベールアリーナより お知らせ

山下惣一講演会(農家、作家)
テーマ「食の安全を考える」

- 2月20日(金) 19時開演
- 入場料: 1,000円 ●場所: シベールアリーナ

お問い合わせ・お申込み 023-689-1166

年金相談

無料年金相談のご案内(どなたでも相談可能)

周辺に迫ったセカンドライフをお任せください。

「社会保険労務士(高橋厚子先生)による年金相談」を毎週水曜日開催いたしております。(第5水曜日除く)

- 場所 JAやまがた本店(山形市役所西向かい)
- 時間 午前10時から午後3時

【事前に相談日をご予約願います】

連絡先 JAやまがた年金相談窓口 本店・各支店へ
※予約状況によっては、希望日時のご相談ができない場合がありますのでご了承下さい。

JAやまがた ウィンターキャンペーン2008

“旨味賞” “美味賞” ご当選のお知らせ

当選番号

- ◆旨味賞◆
各組共通 13617 番
- ◆美味賞◆
各組共通(下2桁) 74 番

詳しくはお近くの窓口までお尋ね下さい。

パズル? 頭の体操 1月号の答えを発表!

1月号のクイズの答えは「シメカザリ」でした。当選者(3名へギフト券1,000円分)は発送をもってかえさせていただきます。

【読者の声】

◇毎月の表紙を楽しみにしています。知人の家族だったときは、とてもうれしいです。これからもいろいろな家族の写真を待っています。(山辺町山辺 Kさん)

◇「山形一小の中庭の田んぼ」の記事を読みました。農業離れが進む中このような体験は貴重であり、子供たちの元気に取り組む姿に感動しました。体験を通して食べ物に関心を持ってほしいと切に願っております。(山形市松原 Aさん)

◇「合格りんご」の記事を読み、息子の受験を思い出しました。もらった合格りんごを食べてよいのか悩んだり、食べないでいたら傷んでしまったり...でも合格できました。懐かしい思い出です。(山形市江俣 Sさん)

1	シ	10	マ	17	リ	20	カ
2	コ	ヨ	リ	15	ド	ク	ミ
3	ク	ウ	13	ユ	バ	ン	
4	ハ	カ	ク	サ	ト	19	ウ
5	タ	9	イ	ヤ	ハ	ガ	キ
6	チ	カ	12	カ	マ	メ	シ
1月号の回答	A	B	C	D	E		
	シ	メ	カ	ザ	リ		

パズル? 頭の体操?

問題
二重マスの文字をA~Eの順に並べてできる言葉は何でしょうか?

応募方法

左の記入例を参考に官製はがきでご応募下さい。正解者の中から抽選で3名の方にギフト券(1,000円分)をプレゼント。締め切りは、2月17日(当日消印有効)です。

50 990-8535

山形市旅籠町 一丁目12-35
JAやまがた
広報クイズ係行

①答え
②当紙へのご意見やご要望、読者の声への一言
③住所・氏名 電話番号
(当紙の編集以外には使用いたしません)

「読者の声」あて先

住所
〒990-8535
山形市旅籠町一丁目12-35
電話 023-641-1213
FAX 023-641-1214
Eメール soumu@jyamagata.or.jp

理事会 だより

●報告事項

- ・幹事会
- 1. 平成20年度上期定期監査意見書について
- ・内部監査室・企画管理部
- 1. JA全国監査機構期中監査I改善指示書について
- 2. 11月末組合員戸数・員数及び出資金調書について
- 3. 組合員(出資金)加入調書について
- ・金融部
- 1. 大口貸出金の報告について
- 2. 平成19年度資産の自己査定に基づく平成20年11月末基準不良債権処理状況報告について
- 3. 11月余裕金運用状況報告書について
- 4. JAバンク基本方針に基づく月次モニタリングの報告について
- ・営農経済部
- 1. 青果物販売状況について

●協議事項

- 第1号議案 高額・員外貸出金について
- 第2号議案 11月末決算について
- 第3号議案 総代選挙について
- その他

第12回 12月26日 開催